

【 令和5年度 : 事業計画書 】

I : 法人本部

(1) 役員

理事長 : 中村 覚

理事 : 中村 恵子

理事 : 織戸 チヨ

理事 : 柳町 一徳

監事 : 渡部 雅子

理事 : 田邊 伸子

理事 : 番地 真理子

監事 : 種市 佐知子

(2) 理事会

今年度 4回の開催予定

II : 認定こども園(幼保連携型)

〈教育・保育理念〉

- ・ ゆたかな子どもの育ちを保証する事を理念として、家庭との連携を図りながら、生きる力の基礎を育成し、義務教育及びその後の教育の基礎を培うとともに、子どもの最善の利益を考慮し、その生活を保障し、保護者と共に園児を心身ともに健やかに育成する事を目標に教育・保育を行う。

〈教育・保育の目標〉

「遊び」を通して様々な事を学び、生きる力を身に付ける

・げんきな子

- ・ 健康安全な生活に必要な習慣や態度を進んで身に付ける。
- ・ 全身を使って意欲的に行動し心身ともに健康な体をつくる。

・がんばる子

- ・ 自分からやりたいことを見つけ、物事に意欲を持って取り組む。

・やさしい子

- ・ お互いの思いを伝え合い、相手の気持ちを受け入れ思いやりの気持ちをもつ。
- ・ 友だちと力を合わせて活動し、最後までやりとげ充実感を味わう。

(1) 職員構成 (3月現在)

園長 1名 副園長 1名 主幹保育教諭 1名 保育教諭 15(パート4)名
看護師 1名 栄養士 1名 調理師 1名 用務員 1名 給食補助 1名
合計 23名 (状況により保育教諭等の加減をする)

嘱託医 1名 (久芳 康朗 : くば小児クリニック) 年 2回の検診 その他
嘱託医 1名 (小笠原 茉莉子 : 白銀吉田歯科医院) 年 2回の検診 その他
薬剤師 1名 (佐々木 厚夫 : みなと薬局) 年 3~4回の環境検査 その他

(2) 定員

1号認定 5名 2・3号認定 90名 95名

(3) 行事

4月	・ 入園、進級おめでとう ・ 年長児懇談会・内科検診①	10月	・ 内科検診② ・ 歯科検診② ・ 保護者学級
5月	・ こどもの日・参観日 ・ 農業体験(種まき)	11月	・ 作品展 ・ 七五三 ・ 農業体験(収穫)
6月	・ 歯科検診①・ピクニック(交通安全指導) ・ 総合避難訓練①・親子バス遠足	12月	・ お遊戯会 ・ クリスマスパティー
7月	・ 七夕・保護者役員会 ・ 園外保育(5歳児)	1月	・ お正月 ・ 餅つき会 ・ 参観日
8月	・ 夏祭り ・ 農業体験(草取り)	2月	・ 豆まき (のり巻きパーティー) ・ お買い物ごっこ
9月	・ 総合避難訓練② ・ お月見会 ・ 運動会	3月	・ 卒園、進級写真撮影 ・ ひな祭り ・ お別れ会 ・ 卒園式 ・ 入園、進級説明会

(4) 子育て支援事業の実施

- ・ 延長保育事業実施 (18:00 ~ 19:00)
- ・ 一時預かり事業実施 (一般型)
- ・ 一時預かり事業実施 (幼稚園型)

その他の事業として

- ・ 休日保育事業実施
- ・ 育児相談

(5) 管理運営

- ・ 1ヶ月単位の変形労働制により 1週40時間労働を実施
- ・ 苦情解決の窓口及び個人情報の適正な管理を行うための窓口を設置
- ・ 個人情報保護に努める。職員のマイナンバーの管理・保管に努める

(6) 研修

外部研修(研修内容)

- ・ サマースクール ・ 保育教諭研修 ・ 保育実技研修 ・ 救命救急法
- ・ 給食研修 ・ 給食実技研修 ・ 危機管理研修 ・ 県保育研究大会
- ・ 幼保小連携研修 ・ 教育保育要領研修 ・ キャリアアップ研修 等

内部研修(研修内容)

- ・ 教育、保育要領について(教育・保育の計画作成 等)
- ・ 外部研修報告
- ・ ケース研究

(7) 今年度の重点取り組みテーマ

目指す保育:【 子どもと共に育つ保育 】

- ・ 子ども主体を徹底して、保育のあり方や保育環境を工夫する。
- ・ 互いを対等な立場に置き、気軽に言い合える関係づくり。

* 自分がやりたいことに向かって、満足するまで遊べる環境づくりを目指す。

- ・ 「認める」「待つ」「見つける」「仕掛ける」その子の持っている心の輝きを見逃さない
「できること」「できたこと」の結果による子ども理解ではなく、子どもの心が優先され、保育者の関わりが重要視される。保育者の願い、親の願いに沿った行動を重視するのではなく、まず、子どもの思いを黙って聞く、受け止める、存在を認める、存在を喜ぶ、子どもを優しく包むように接し寄り添う姿勢に関わりがみえてくる。子どもは、寄り添ってもらった体験、認められた体験から、自己肯定感が立ち上がり、保育者を信頼するようになり、「せんせい、あのね」と声をかけ、また、保育者の言葉に耳を傾ける態度も自然の関係の中で生まれてくる。

- * コロナ感染等の感染症対策を継続する。
 - ・ 身体面では、子どもが自然に分散できるような環境づくりを工夫する。
 - ・ 精神面では、距離が近づくよう、共感的な関わりを工夫する。

- * 「気持ちよく」「美しく」「穏やかに」生活する。
 - ・ 園内外を整理整頓して、美しさを感じる環境を整えることで、子どもに良い影響を与える。保育者が穏やかな気持ちで過ごせば、子どもは伸び伸びと育つ。居心地の良い環境となり良好な関係が築ける。保育室を子どもの目の高さでいつも見ていくことが大切である。

(8) 給食

- ・ 安心安全な食材調達と衛生管理、極力手作りに努め楽しい食事を提供する。
- ・ アレルギー除去食・代替食の実施。医師の指示書の下、その都度保護者と話し合いながら除去を行い調理師と職員が連携して誤食防止に努める。
- ・ 食育は栄養士がとりまとめ食育計画を策定する。
- ・ 保護者への給食情報の提供

(9) 園児・職員の健康管理

- 園児：内科検診・・・年 2回
- 歯科検診・・・年 2回
- 身体測定・・・月 1回
- 専門機関による尿検査（5月実施・・・3歳以上児対象）
- 職員：健康診断 年1回（健診センター 11月）
- 調理、離乳食、授乳担当職員・看護師：毎月 1回検便の実施
- 職員全員：10月にインフルエンザ予防接種の実施

(10) 安全管理・危機管理

- ・ 園舎、外に防犯カメラ(4台)設置
- ・ 交通安全指導：年 2回(6月→3歳以上児は八戸公園にて実施)
- ・ 避難訓練(火災・地震)：月 1回
- ・ 避難訓練(不審者)：年 3回
- ・ 避難訓練(非常災害)：年 2回

- ・ 遊具安全点検の実施 : 月 1回
- ・ 安全会議 : 年 2～3回(但し、事故等があったら即日会議)

(11) その他(地域交流等)

- ・ スイミング(ウイング)教室の開始 (4・5歳児 *希望者のみ)
(毎週月曜日:引率職員2～3名)
- ・ 野菜の苗植え・種まき・収穫体験 (3歳以上児)八戸市農業経営振興センター
- ・ 祖父母を迎えての「お月見会」開催

(実習生の受入)

- ・ 八戸学院光星高等学校 保育福祉科 2年生
- ・ 八戸学院大学短大大学部 幼児保育学科 1・2年生

(ボランティアの受入)

- ・ 八戸市立白銀南中学校 : 2年生グッジョブ
- ・ 八戸市立白銀中学校 : 2年生グッジョブ
- ・ 八戸市立白銀南中学校 : 3年生 幼児との触れ合い体験学習

(地域との交流)

- ・ ホタルの幼虫、カワナ放流会 : 5歳児
- ・ 幼保こ小連携会議参加
- ・ 白銀南公民館まつり参加 : 4・5歳児
- ・ えんぶり見学(2月) : 5歳児
- ・ 白銀南小学校見学 : 5歳児